

## 平成21年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

### 1 議題

議案1 平成21年度事務事業進捗状況について

議案2 平成22年度予算(案)の概要及び事務事業について

議案3 鎌ヶ谷市幼年、少年、婦人防火委員会委員の推薦について

議案4 その他

### 2 開催日時

平成22年2月17日(水) 10時00分から11時00分

### 3 開催場所

鎌ヶ谷市消防本部2階会議室

### 4 出席者

#### (1) 委員

鈴木定夫委員(委員長)、岡田通委員(副委員長)、末永富貴子委員、  
阿部万里亜委員、若槻恵子委員、山田静雄委員

#### (2) 事務局

皆川保則消防長、川島正二郎次長、西村繁警防課長、高山悟予防課長、  
林正義通信指令室長、皆川宏幸消防総務課長、矢ノ目健二庶務係長、  
高橋順一主査補、白井祐介消防主事、市原左知子消防主事補

### 5 開示 不開示について

開示

## 6 発言の趣旨

- 皆川課長 委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出があったことを報告した。
- 皆川課長 委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務めることを伝え、鈴木委員長に挨拶を求めた。
- 鈴木委員長 あいさつ。
- 皆川課長 消防長に挨拶を求めた。
- 皆川消防長 あいさつ。
- 皆川課長 事前申し合わせにより任期中は、継続として山田委員及び末永委員を署名人とすることを伝えた。
- 鈴木議長 議案1平成21年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
- 矢ノ目係長 事業実施内容として、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等を説明。
- 鈴木議長 引き続き、議案2平成22年度予算(案)の概要及び事務事業について説明を求めた。
- 矢ノ目係長 平成22年度消防予算(案)の内訳について説明。
- 鈴木議長 各委員に質問を求めた。
- 岡田委員 消防車両及び救急車両の更新時期について質問。
- 皆川課長 鎌ヶ谷市消防車両更新計画に基づいて、車両の老朽具合、機能保持状態、故障の頻度等を考慮し、消防車両は15年、救急車両は9年、屈折はしご付消防自動車については20年で更新と回答。
- 鈴木議長 現在、NOx・PM法の規制にかかる車両の有無及び、規制のために更新する車両の有無について質問。
- 皆川課長 化学車が該当車両ではあるが、鎌ヶ谷市車両更新計画の中で化学車は来年度の更新予定となっており、NOx・PM法の規制による更新ではないと回答。
- 阿部委員 消防救急無線共同デジタルアンテナ・車載無線・携帯無線整備事業について質問。
- 林室長 現在の消防・救急無線はアナログ方式ですが、電波関係審査基準の改正でデジタル方式に移行しなければならない。それに伴い、国では消防・救急無線のデジタル化は広域化・共同化により整備することを原則とし、基本的に都道府県で一つの無線網として、できるだけ広域での運用とすることを示している。デジタル方式は周波数・資源の有効活用が可能であり、通信の高度化、個人情報保護の観点による秘匿性の向上が図られること、また震災等

の大規模災害を想定した広域的な活動が求められていることから  
 県域で行われるものである。そのため今回の整備事業は、千葉県  
 内の消防本部すべてが共同で、デジタル化に移行するものと回答。

末永委員 住宅用火災警報器の普及率について質問。  
 高山課長 鎌ヶ谷市の設置推計、設置率は平成21年11月の調査では40.3%で、昨年度より6.3%の上昇はあるが、まだ一般家庭での普及率は低いと回答。

末永委員 住宅用火災警報器推進の取組について質問。  
 高山課長 春秋火災予防運動中、自治会を通してパンフレットの配布、広報誌及びホームページへの掲載、消防訓練時にPRの実施と回答。

山田委員 鎌ヶ谷市の救急救命士の人数及び行える処置について質問。  
 西村課長 現在20名の消防職員が救急救命士の資格を取得している。救命処置については平成3年の救急救命士法の制定により、除細動、器具を用いた気道確保及び静脈路確保が特定行為として医師の指示で行えるようになった。また救急救命士法の改正により気管挿管、薬剤投与が追加され、除細動については、一般の救急隊員でも可能になった。全ての処置を行うことのできる認定救命士は13名であると回答。

若槻委員 新型インフルエンザの搬送人数について。  
 西村課長 確認できている限りで、搬送件数32件と回答。  
 阿部委員 消防広場について、もっと市民の方に周知すべきだとの意見。  
 高山課長 周知の方法を考えていくとの回答。  
 鈴木議長 他に質問がなく、議案の承認を求めた。  
 各委員 異議なしの発声。

矢ノ目係長 議案2の最近3カ年の救急出動件数、平成21年傷病程度別搬送人数について説明。

鈴木議長 質問がなく、議案の承認を求めた。  
 各委員 異議なしの発声。  
 鈴木議長 議案3 鎌ヶ谷市幼年、少年、婦人防火委員会委について説明を求めた。

矢ノ目係長 鎌ヶ谷市幼年、少年、婦人防火委員会委員の推薦について、鎌ヶ谷市幼年、少年、婦人防火委員会委員の平成22年役員改正に伴い、鎌ヶ谷市幼年、少年、婦人防火委員会会則第3条に定めにより、鎌ヶ谷市消防委員会から推薦を求めた。従前より本会を代表する消防委員会会長を推薦することが慣例となっているので、鈴木委員長を消防委員会の推薦とし、鈴木委員長及び各委員の承認

を求めた。  
鈴木議長 承認。  
各委員 異議なしの発声。  
鈴木議長 議案4その他について説明を求めた。  
矢ノ目係長 事務局側からの付議は無いので、各委員からの付議を求めた。  
鈴木議長 住宅用火災警報器の立ち入り調査をできないのかと質問。  
皆川消防長 一般住宅に関しては消防法が適用されないため、個別に調査を  
することは難しいと回答。  
鈴木議長 他に質問がなく、議案の承認を求めた。  
各委員 異議なしの発声。  
鈴木議長 会議閉会を宣言した。

## 8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成22年2月26日

氏名 山田静雄

氏名 末永富貴子